

# AXIS

concepts on the horizon

93

September  
October  
2001

創刊20周年記念号 特集「プロトタイプ・ニッポン2001」後編  
インタビュー 吉岡徳仁 / アドリアン・フルティガー / ジャスパー・モリソン

The 20th Anniversary feature : Prototype Nippon 2001 vol.2  
interview : Tokujin Yoshioka / Adrian Frutiger / Jasper Morrison

*tokujin*





135 Takashi Ifuji's Portasogno



136 Toshi Satoji & Peter Solomon's Back Scratch



137 Yuichiro Yamanaka's Tip-top Tap

## 135 井藤隆志／「ポルタソーニョ」(2001) Takashi Ifuji's Portasogno (2001)

ミラノサローネは、フリーランスデザイナーがプロトタイプをつくるきっかけの1つといえるだろう。展示会を通して作品に対する幅広い意見を吸収し、改良を重ねながら、製品化に向け各デザイナーは動き出す。眠りの「時」を表したこの照明は、今年のミラノサローネに出品し好評を得ている。「自動的に明かりが付き、眠る前の読書が楽しめることのできるベッドサイド・ランプです。眠くなり腕を伸ばして本を置くと同時に、ゆっくりとランプは消えていきます」。「Portasogno」は造語。イタリア語「porta-」は「～を運ぶ物、支える物」、「sogno」は「夢」を意味することから名付けた。開発メーカーを探しており、テーブルに置くタイプも検討中。

This lighting expressed a bedtime atmosphere, and got high marks at this year's Milan Salone. "It's a bedside lamp that automatically comes on so you can read a book before you go to sleep. The light will gradually extinguish when you get sleepy, stretch your arms and put the book down." Portasogno is a word I coined from the Italian words porta (something that moves something) and sogno (dream).

■ ifuji@micronet.it

## 136 トシ・サトジ&ピーター・ソロモン／ 「バック・スクラッチ」(2000～) Toshi Satoji & Peter Solomon's Back Scratch (2000～)

パソコンを長時間使用する人々が増加している。これはパソコンの脇に置いて、手軽に疲れた体をマッサージすることができる現代版「孫の手」である。購入時には小冊子が付いており、その中には本商品を使った、あらゆるマッサージ法が記載されている。「本来の目的はパソコンのヘビー・ユーザーが疲れた体を癒すために、正しく手軽にできるマッサージ法の伝授です。この類いの商品は価格が勝負なので、製造コストを抑えるために金型はシンプルな雌型と雄型だけで成形できるよう形状を考慮しました」(サトジ)。高級感を与えるため、砂型でアルミ・バージョンも製作した。飛

行機での長旅に疲れた際、航空会社のサービスの1つとして、機内用ヘッドホンと同様、本商品を乗客が使用することも考えている。ふたたびは、ミラノ在住の日本人デザイナーと米国人デザイナーによるユニットとして活動中。

More and more people are using the PC. This device is a modern version of the traditional back scratcher. A pamphlet attached to the main body explains how to use the product. In other words, the essential purpose is the instruction of easy-to-use massage methods intended to "heal" a person's body exhausted from heavy PC use.

■ toshisatoji@libero.it

## 137 山中祐一郎／ 「ティップトップ・タップ」(1999～) Yuichiro Yamanaka's Tip-top Tap (1999～)

S.O.Y.建築環境研究所を主宰する山中が、富山デザインコンペに向けて製作したコンセントカバー。山中は、「オフィスや住空間を設計していていつも気になるのがコンセント。なかなか納得いくプレートには出会えない。加えて近年コンセントの需要はさらに増え、たこ足も見苦しく増殖している。これらを解決するモノとしてシンプルなボックス状に機能をまとめた。この分野のプロダクトに一石を投じる商品になれば、と思っている」と言い、富山デザインセンターの継続的な支援のもと、ようやく製造元のノアと無印良品によって、商品化を検討するところまで漕ぎ着けた。

This is an electrical outlets cover produced for the Toyama Design Competition. "When designing offices and living spaces the thing I'm most concerned about are the electrical outlet. I never seem to encounter an outlet plate that I think will work. In recent years the demand for outlets is increasing, and it's spawning those horrible "octopus outlets," put all the functions in a box form to solve those problems.

■ u1soy@aol.com

## 138 酒井俊彦・真紀子／ 「Tsumiki Tower」(2000～) Makiko & Toshihiko Sakai's Tsumiki Tower (2000～)

製作のきっかけは、自らの事務所サカイデザインアソシエイツに置くコートハンガーが欲しかっ

たからで、理由は「販売されているものは、木製か、いかにもデザインされたものしかなかった。自分たちでつくることにした」。コンセプトは、「子供がハンガーの棒の背の高さにあった穴に差し込んで、自分で上着を掛ける。成長するにしたがって、棒を差す穴の位置が上がっていき、やがて大人になる。子供が棒を差し込むイメージからTsumiki Towerと名づけ、ひとりの人間の一生を見続けられるよう、無塗装の桜材と容易に再塗装が可能なアルミの角パイプで構成している」。上代72,000円で、現在販売先を探している。また、コートハンガーとして小さい床面積ながら、優れた安定性を確保している点も特徴。

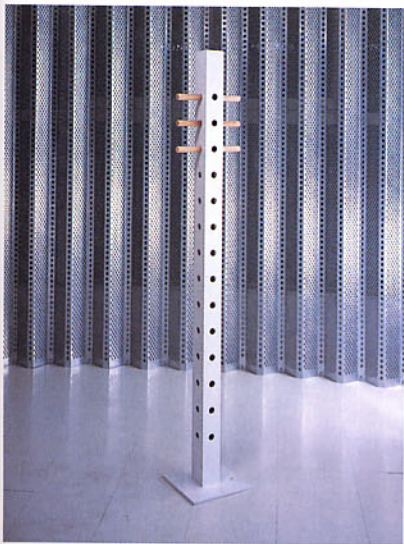
The inspiration for this work was the need for a coat hanger in their office. The concept was "having the child hang his own coat on a hanger peg stuck in a hole level with the his height. As the child grows the hole for the peg can be raised all the way until he becomes an adult. We called it Tsumiki Tower after the image of a child putting the pegs in the holes."

■ sakai@sakaidesign.com

## 139 遠藤健史／「pod-CDラック」(1999～) Takeshi Endo's Pod-CD Rack (1999～)

遠藤はSTUDIO-Pを主宰するデザイナー。「別のフェルト製品のために考えた構造をCDラックに適用したところ、CDケースにしまわずにそのままスッと置けるラックができた。しかし、フェルトではコストなどの問題があった。CDを傷付けずに、いかに簡単に着脱できるか、壁面への固定はどうするか、そしてコスト。素材、構造の実験の繰り返しです。自宅で2年程使っていますが、3歳の息子が『あの黄緑のCDかけて』と指差してリクエストするんです」。本誌発売の9月までに試作を2回作り、完成形に持っていく予定。その後、販路を開拓する。

When I applied a certain structure—that I had thought of for a different felt product—to a CD rack, I found that I could put CDs in it without using the CD cases. I've been using it at home for about two years. My three-year-old son always



138 Makiko & Toshihiko Sakai's Tsumiki Tower



139 Takeshi Endo's Pod-CD Rack

140 Tetsutaro Nakabayashi's T4AL



## Prototype Nippon 2001 vol.2

points to the one he wants, requesting me to "put on that yellowish-green one." It's due to take its final form by September of this year.

■ t-endo@ma.kew.net

### 140 中林鉄太郎 / 「T4AL」(2001)

Tetsutaro Nakabayashi's T4AL (2001)

灰皿やキャンドル用トレイとして使える、スタッキング・アルミトレイ。中小企業の技術力を背景にデザイナー自身がイニシアチブをとったモノづくりを行うべく、デザイナーの内藤智康とともにブランド「teamN (チーム・エヌ)」を立ち上げた。「T4AL」はその第一弾商品となる。デザインコンセプトは「lucky find! (掘り出し物!)」。生活のなかでの主演女優賞を狙うようなプロダクトではなく、もっと身近で親しみがありながら、ちょっと得した気分になれる、名脇役的な価値感のある生活雑貨提案。8月末に量産体制が整い、現在、販路を検討中。また、今後アロマランプタイプなどへの展開も計画中だと言う。中林はTetsutaro Designを主宰するプロダクトデザイナー。

Stacking aluminum trays that can be used as ash-trays or candle trays. He established the brand TeamN, believing that it's up to designers to take the initiative and utilize the technological know-how of small and mid-sized companies. T4AL is the first product that represents that thought. The design concept was "lucky find! A proposal for daily sundries that was familiar, reasonably priced, and made you feel like you got a good deal."

■ t2taro@tn-design.com

### 141 エリシャ・ハンティングトン / 「プレス・プレイ・サウンド・ピロー」(2001)

Elysha Huntington's Press Play Sound Pillow (2001)

「この小さなモバイル枕は、今年、デザイン研修のために日本を訪れたときに見た光景をヒントにしています。日本では電車で寝る人がとても多い。より快適に眠れる方法を提案できないかと、開封したら膨らむ携帯式の枕を考案しました。ボタンを押すと水や鳥の声などのさわやかな音を発する機能を持たせ、リラックス効果を高めています。駅前でティッシュを配るように枕に広告

を載せて配ったり、あるいはメッセージを録音して伝えたり、新幹線で使う、キオスクで販売するなど、さまざまな利用展開が考えられます」。無料配布できることを念頭に置いたため、製造コストに注力した。現在、製品化に向けて改良中。

"I got a hint for this small, mobile pillow from scenes I saw in Japan. There are a lot of people who sleep on commuter trains. To make them more comfortable, I proposed a portable pillow that inflates when unfolded. There are a lot of applications: They could be passed out with advertisements on them, just like those small packages of tissues, used on the Shinkansen, or sold at kiosks."

■ elysha\_huntington@hotmail.com

141 Elysha Huntington's Press Play Sound Pillow

